

ブロッキングエーンと分散自律型社会(下)

国際社会経済研究所(NECグループ)
調査研究部主任研究員



松永
統行

三者二様

私たちの身の回りの経済基盤や生活基盤は、多様な主体によって構築され、私たちの社会構造が形成されている。社会を構成する主体には、経済基盤を構築してきた①「国家・行政」と②「市場・

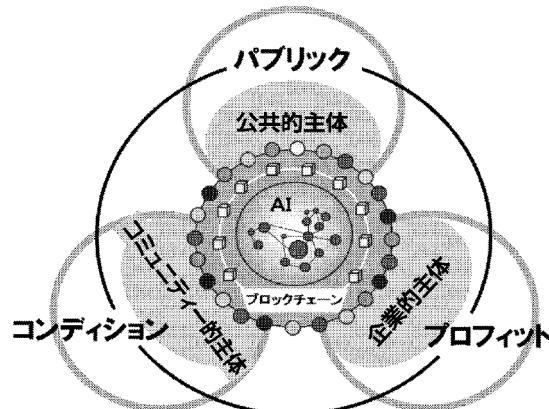
企業」、そして私たちトの中へ改さんでき
の生活基盤を支える③ない情報、すなわち
「コミュニケーション」「信頼」できる情報が
と、大別して三つの主組み込まれた情報空間

AI網が社会構造創出

体がある。情報ネットな二大書籍領域で進展していくは、ブロッフ・アーヴィングト
ワークは、近代の社会で、この三つの主体を背
インフラを劇的に高度化してきたが、それら
はこの三つの主体を背
景に構築されている。
ブロックチエーン（分散型台帳）の登場
により、インターネット
ワークは生まれ、三つ
の主体の社会サービス
にも革新をもたらす。
個の緩い関係性を維持
しているが、今後、多くの要素技術の組み合
わせや融合が進む。そ
して、今までにはなか
った信頼形成のネット
ワークが生まれ、三つ
の意図による参画の自由
度が高い主体であり、
(利潤)をフェアに獲得するという使命の
下、自由闊達な活動で
商流を生み出す。コミニ
ュニティーは、個人の

し、目的に向かうためのコンディション（条件）を調整しながら活動を展開する。において、過去の裁判の判例を判断し調停するAIシステムを構想する場合には、厳密なルールの下、公共的な

多様な主体をつなぐ次世代社会インフラ



様々なネットワークが形成され、柔軟な社会サービスが展開されるようになるだろう。

先端的インフラ

英国政府は、従来のデザイン思想とは対極的な、市民側のニーズからデザインされた行政サービスを展開するため、5年前に内閣直結の推進機構、ガバメ

このように、多様な主体間の相互作用の中、に信頼を創り出すプロツクチエーンやAIのネットワーク機構が、主体の考え方の相違を解消しながら、新しい社会構造を創出する。新しい分散自律型社会を形成するためのデザイン思想の構築が始まっている。

(PART 6おわり)

仕組みが設計されなければならぬ。市場や企業のA-I情報サービスでは、自由闊達な価値の提供とともにフェアであることが要求される。

次世代社会インフラでは、まず、主体の特徴に合わせて信頼情報やA-Iがデザインされ、さらに、A-Iの多めている。

ト・デジタル・サービス（GDS）を創設した。新しい思想の情報基盤を生み出すため、自律というコンセプトを掲げ、人が介在しなくともA-Iによって信頼のある市民サービスを提供する先端的な自律型の公共サービスをスインフラの構築を進

仕組みが設計されなければならぬ。市場や企業のAI情報サービスでは、自由闊達な価値の提供とともにフェアであることが要求される。

次世代社会インフラでは、まず、主体の特徴に合わせて信頼情報やA-Iがデザインされ、さらに、AIの多様なネットワークが形成され、柔軟な社会サービスが展開されるようになるだろう。

先端的インフラ

英国政府は、従来のデザイン思想とは対極的な、市民側のニーズからデザインされた行政サービスを展開するため、5年前に内閣直結の推進機構、ガバメント・デジタル・サービス（GDS）を創設した。新しい思想の情報基盤を生み出すた報基盤を介在しなくともA-Iによつて信頼のある市民サービスを提供する先端的な自律型の公共サービスインフラの構築を進めている。

このように、多様な主体間の相互作用の中に信頼を創り出すプロツクチエーンやA-Iのネットワーク機構が、主体の考え方の相違を解消しながら、新しい社会構造を創出する。新しい分散自律型社会を形成するためのデザイン思想の構築が始まっている。